

MiCAN

Technologies

京都大学との
共同研究ラボで評価・研究。

京都大学が、「シーズおよび知的財産を活用した
新事業創出」を目指す「京大桂ベンチャープラザ」に
本社および研究ラボを構えています。

理 念

OUR MISSION

再生医療技術で創り出す特殊な血球の提供を通じ、
世界のあらゆる人々の健康に貢献する。

再生医療技術により均質で精度の高い「ヒト血球」を必要量生産・供給し、
感染症研究や医薬・機能素材の効能・安全性評価を飛躍的に効率化します。

「評価用キット」販売や「評価受託サービス」も行ないます。

会 社 概 要

COMPANY PROFILE

企業名 : マイキャン・テクノロジーズ株式会社
MiCAN Technologies, Inc.

所在地 : 〒615-8245
京都市西京区御陵大原1-36 京大桂ベンチャープラザ
TEL : 075-381-3008

代表者 : 代表取締役CEO 宮崎 和雄

設立 : 2016年7月

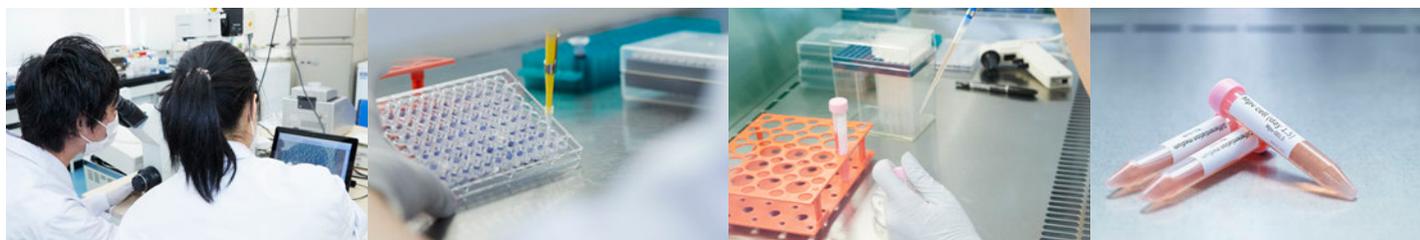
資本金 : 80,095,003円

事業内容 : ●再生医療技術を使用した
「研究用血球様細胞の提供」(販売)事業
●同血球様細胞を用いた
「薬系開発の評価サービス」(請負)事業
●同血球様細胞を用いた、実験動物代替法に基づく
「各種試験受託サービス」(請負)事業

沿革

HISTORY

2015年	◆	経産省「先端課題解決型ベンチャー等支援事業」に選出
2016年	◆	設立(東京都中央区)
	◆	11月 グロービス・ベンチャー・チャレンジ大賞受賞
2017年	◆	10月 京都大学・長崎大学と感染症研究用赤血球様細胞(第一号製品 Mpv細胞)を共同開発、 特許出願
	◆	12月 ウィルス研究用ミエロイド系細胞(第二号製品 Mylc細胞)の開発開始
2018年	◆	2月 自社の研究・開発拠点を京大桂ベンチャープラザ(中小機構インキュベーション・京都市)に構える
	◆	7月 赤血球様細胞(パイロット品 Mpv細胞)の出荷開始
	◆	8月 大阪大学・熊本大学とウィルス研究用ミエロイド系細胞(第二号製品 Mylc細胞)に関する 特許出願
	◆	9月 本社を京大桂ベンチャープラザ内に移転
	◆	11月 京都産業21「エコノミック・ガーデニング事業」に選出
	◆	12月 京都商工会議所「知恵の経営コンテスト」に選出
2019年	◆	3月 本社・研究所を拡張
	◆	4月 日水製薬(株)と製品開発における培地に関する共同研究契約を締結
	◆	7月 ウィルス研究用ミエロイド系細胞(パイロット品 Mylc細胞)の出荷開始
	◆	8月 大阪大学VCなどへの第三者割当増資を行い1.27億円調達(シリーズA)
	◆	11月 「第1回 大阪テックブラングランプリ」にて、 最優秀賞 、及び 関西みらい銀行賞 を受賞
2020年	◆	4月 大阪大学とMylc細胞を使用した コロナウィルス共同研究 を開始
	◆	6月 AMED「ウィルス等感染症対策技術開発事業」改良技術支援に選出



想い

COMMITMENT

私がインド赴任をしていた時、マラリア・デングなどの感染症で何人もの同僚が倒れました。新薬開発が急がれる三日熱マラリア。ワクチン開発が待たれるデング熱……。血液を介在する感染症疾患の研究開発にはどれも特定の血球が大量に必要で、その入手の困難さが薬やワクチン開発の遅れの最大要因となっていたのです。そこで私は日本の先端技術である再生医療技術を活用して、必要な特殊血球を大量・安価に生産・供給することを決意しました。

帰国後の2015年、経産省「先端医療解決型ベンチャー等支援制度」にて事業案が採択されたのを機に活動を本格化させ、翌2016年に会社設立。その後さまざまな自治体・協会・投資機関の事業支援や補助、各団体の賞などをいただきながら、志を同じくする仲間やスタッフと、血球様細胞の開発と世界に向けての提供を精力的に行っています。

2020年、COVID-19が世界を震撼させる中、私たちの血球が新薬・ワクチン開発のドライブの一つになればと願ってやみません。

代表取締役CEO 宮崎 和雄

